

資料 2-1

平成28年7月28日

平成27年度保健事業の取り組み状況

健康づくり課

1 母子保健の充実

(1) 妊婦、乳幼児健診

① 週数別妊娠届出者数及び率

年度	総数	11週以内		12週～19週		20週～27週		28週以上	
		届者数(人)	割合(%)	届者数(人)	割合(%)	届者数(人)	割合(%)	届者数(人)	割合(%)
H27	623	602	96.6	21	3.4	0	0.0	0	0.0
H26	583	571	97.9	10	1.7	2	0.3	0	0.0

・平成27年度より妊娠から子育てまでの「育み相談コーナー」を開設し、妊娠届に来られた人の相談にその場で対応している。

② ハッピーベビークラブ

年度	延べ参加人数(人)	1回目(人)	2回目(人)	3回目(人)	実施回数
H27	350	60	84	206	4クール
H26	342	60	78	204	4クール

※人数は夫を含む。

※1回目は 妊娠中の食事、妊娠中のQ&A

2回目は 歯科健診、妊娠中の過ごし方

3回目は 妊婦体験、沐浴体験、夢ある子どもに育てるコツについて、産まれたよ会(妊婦・夫婦と赤ちゃんの交流会)

・口腔歯科への意識が高まっている。

平成28年度より、妊婦歯科健診が医療機関委託となり、より健診を受けやすい体制となっている。

・3回目は毎回30組を超える夫婦での参加が多く、体験学習のニーズが増加している。

③ 妊婦一般健康診査

年度	受診者数(人)	延べ受診者数(人)
H27	916	6,748
H26	943	7,240

※ 8週頃～39週頃まで14回受診の健診助成

- ・妊婦健診の受診率は100%に近い。
- ・県外で受診した人には償還払いで対応しており、平成27年度は実数26人(延)134件であり、平成26年度とほぼ同数だった。

④ 乳幼児健康診査

対象児	年度	健診回数(回)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	発育状況(人)			疾病異常	
						やせ	普通	肥満	延べ数(人)	率(%)
4か月	H27	24	581	578	99.5	9	553	16	30	5.2
	H26	36	599	585	97.7	8	555	22	23	3.9
10か月	H27	24	607	601	99.0	7	569	25	14	2.3
	H26	36	565	556	98.4	6	538	12	18	3.2
1歳6か月	H27	24	583	574	98.5	1	545	28	9	1.6
	H26	36	612	611	99.8	1	585	25	12	2.0
3歳	H27	24	648	633	97.7	1	609	23	64	10.1
	H26	36	620	615	99.2	6	583	26	55	8.9

- ・疾病異常は、乳児健診では、先天異常や身体的発育異常が多く、幼児健診では、視聴覚障害や泌尿器系疾患が多い。
- ・健診未受診者については発育発達状況の全数把握を行っている。
- ・発育状況において、やせと肥満がみられた児には、個別に保健指導を行っている。

⑤ 幼児歯科健診

対象児	年度	健診回数(回)	受診者数(人)	むし歯無の人数(人)	むし歯有の人数(人)	むし歯有病者率(%)	フッ化物歯面塗布数(人)	フッ化物歯面塗布率(%)
1歳	H27	12	556	556	0	0.0	546	98.2
	H26	12	536	536	0	0.0	521	97.2
1歳6か月	H27	24	574	565	9	1.6	564	98.3
	H26	36	614	607	7	1.1	603	98.2
2歳	H27	12	522	504	18	3.4	516	98.8
	H26	12	598	578	10	1.7	592	99.0
2歳6か月	H27	12	551	518	33	6.0	541	98.1
	H26	12	544	509	36	6.6	534	98.2
3歳	H27	24	632	540	92	14.6	607	96.0
	H26	36	614	531	83	13.5	594	96.7

- ・幼児の成長とともにむし歯有病者率が高くなる傾向がある。
- ・3歳児でのむし歯有病者率が高いため、2歳児での歯磨き等に関する保健指導を強化している。

(2) 育児支援事業

① 育児相談会(年12回開催)

参加延べ人数(人)

年度	4か月以下	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳～1歳5か月	1歳6か月～1歳11か月	2歳	3歳以上	合計
H27	167	90	91	95	94	76	32	65	256	95	180	21	1,262
H26	161	94	66	80	82	55	55	62	248	115	172	46	1,236

※身体計測、育児・栄養相談

・2か月育児相談会から継続して相談者が増加している。

② その他相談・教室

相談・教室名	年度	実施回数(回)	実人数(人)	延べ人数(人)
2か月児育児相談会	H27	12	323	
	H26	12	359	
療育相談会	H27	33	79	98
	H26	29	65	90
療育教室	H27	42	39	436
	H26	42	38	384
産まれたよ会	H27	4	36	113
	H26	4	31	100
たんぽぽの会 (障がいのある子と保護者)	H27	12	20	90
	H26	12	22	86
子育て教室	H27	1	20	20
	H26	1	20	20

・療育相談希望者が年々増加傾向にある。

③ 離乳食相談会(年12回開催)

(参加人数 単位:人)

年度	4か月以下	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月	13か月	合計
H27	76	126	104	105	91	94	69	35	11	0	711
H26	72	119	78	94	60	67	42	33	5	1	571

※各期ごとに集団指導・離乳食見本提示・個別相談

・乳児の月齢の発達成長に応じて複数回の相談者が多い。

④ 妊産婦・新生児訪問指導状況(訪問回数 単位:回)

年度	妊婦	産婦	新生児
H27	181	512	847
H26	152	471	862

※希望者に対し、助産師が妊婦1回、産婦1回、新生児2回の訪問指導を実施

※医療機関から未熟児等連絡票が届いたケースや虐待防止等で保健師が訪問した数を含む。

・体重増加不良や産後うつ等育児不安が強い人へは、継続訪問や2か月児育児相談会でフォローしている。

・産婦新生児訪問の希望のなかった家庭には、社会福祉課の「こんにちは赤ちゃん事業」を実施し、看護師が家庭訪問等で状況把握を行っている。

(3) 妊娠から子育てまでの「育み相談コーナー」

※平成27年4月より妊娠、出産、子育てについて、ワンストップで切れ目のない総合相談窓口を開設し個々の相談に対応するとともに、要支援者に対し関係部署と連携し切れ目のない支援体制づくりに取り組んでいる。

①母子健康手帳交付時等における総合的な相談対応

※平成27年度

【面接相談】 185件(出生・転入時等含む)

【電話相談】 78件

【主な相談内容】 妊娠中の過ごし方 保育園に関する事等

・ワンストップ総合相談窓口を開設したことより、妊婦の相談件数は平成26年度8.2%(583人中48人)から平成27年度19.9%(683人中136人)に増加した。

・庁舎内に相談窓口を設置し関係課と連携することで、保育園・医療費・福祉サービス等保健指導以外の相談にも早期対応を図っている。

②要支援者の支援プラン作成

※平成27年度

【支援プラン作成数】 32件(終了者含む)

【主な理由】 ハイリスク妊婦 産後の育児不安 虐待・DV疑い

・作成した支援プランをもとに、関係部署と連携し対応している。

健康づくり課の地区担当保健師 35件、子育て支援課 62件、社会福祉課 36件、

保険年金課 24件、市民課 8件、学校教育課 2件、ファミリーサポートセンター 4件 合計171件

2 健康づくりの支援

(1) 健康づくりマイストーリー運動「つばめ元気かがやきポイント事業」

①登録者の状況

登録者数(人)

	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60～79歳	80歳以上	合計
H27	59	579	1,182	3,955	574	6,349
H26	29	344	605	1,912	219	3,109

・手帳登録者は6,039人、Web登録者は310人で、Web登録者のうち20～59歳の方はWeb登録者の9割以上を占める(290人)。

・性別では、男性1,967人、女性4,382人で女性の割合が高く、男性は約3割となっている。

②ポイント報告者の状況

	報告者数 (人)	抽選会 参加数 (人)	抽選会 参加率 (%)	健康 ヒーロー (人)	ウォーキン グマイスター (人)	レインボー 健康体操 マイスター (人)
H27	898	709	79.0	130	82	4
H26	509	379	74.5	109	76	10

・継続性を高めるために抽選会を年2回に拡充し、参加数・参加率ともに増加した。

・11月の抽選会は健康フォーラムin県央と、3月の抽選会は元気まつりと同時開催とし、魅力アップに心がけた。

③健康づくりマイストーリー講座実施状況

【第1回】9月12日(土)燕市文化会館にて開催

テーマ「ガッテン流！いつの間に？！お腹がへこむくびれるわれる術」

参加者数600人(男性1割)

・測るだけダイエット考案者の講演で関心が高く、ダイエットについて楽しく学べた、実行したいと好評だった。

【第2回】11月15日(日)吉田産業会館にて開催

テーマ「自分スタイルでちょこっとエクササイズ」～なんとかしたい今がチャンス★ ○年後の自分への贈り物～

参加者数164人(男性2割)

・健康フォーラムin県央と同時開催。自分の身体のクセを知り、自分に合った運動を続けたいと好評だった。

(2) 健康増進計画『元気磨きたい』の取り組み

元気磨きたいとは：燕市健康増進計画の目標を達成するための実践プロジェクトであり、多様な健康づくりの場を参加参画型で創造していく実践部隊として、健康づくりを実現するテーマ別プロジェクトで構成している。

区分 \ 年度	H27	H26
プロジェクト数	27プロジェクト	14プロジェクト
メンバー数	509人	183人
参加延べ人数	10,929人	2,465人
研修・会議	20回	26回
かがやき人※	8,993人	8,405人
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を実践する13グループが登録プロジェクトとして加わり活動した。 ・他部署事業に新たに参加し、元気磨きたいをPRしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年以上に健診会場や他部署事業に参加し、元気磨きたいをPRしている。 ・新たに完成したウオエイ燕店のフリースペースを利用し、定期的にPR活動をしている。
活動のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・かがやき人8,500人を目指し活動を展開した結果、目標を達成した。 ・他組織との連携、メンバーの主体性を意識した活動を展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気磨きたいの活性化を意識し、プロジェクト間だけでなく、他組織との連携を強化した。 ・かがやき人7,000人を目指し、PR活動を展開し目標を達成した。

※かがやき人：元気磨きたいのメンバー以外で磨きたい活動に参加した市民

【平成27年度テーマ別プロジェクト】さまざまな健康づくりに取り組んでいる

- 「運動」 : 健笑にこにこ運動TAI、にこっちウォーキング、にこっち体操
- 「食」 : スマイル食L♡ve、男のチューボー
- 「世代交流」 : 劇団花咲かでんでん(むし)、ぴかぴかパークDEこんにちは、花♣はな宅急便
- 「ふれあい」 : にこっち楽団、着楽塾、保推OB
- 「活躍」 : 男性も女性も輝く会、健診PR隊、GO!GO!楽笑会

【活動内容】

- ①元気磨きたいスタートの会(全体会)を開催。元気磨きたい全体の目標やお互いの活動を共有することでやる気や一体感を高めている。
- ②各プロジェクトは延べ264回の活動を実践している。
- ③世話人会議を4回開催。各プロジェクトの情報共有や、プロジェクト活動を運営するためのスキルアップを目指した内容を取り入れている。
- ④「元気まつり2016」は平成28年3月12日(土)吉田産業会館で開催。
 - ・より多くの人に「広める」を意識し、新たなPRの機会をつくり、積極的にPRを行った。
 - ・かがやき人は順調に増加しているが、さらなる活動の充実拡充をねらうため、燕市の現状に沿ったプロジェクトの多様化が必要。(特に男性や若い世代が参加しやすいしくみづくり)
 - ・「元気まつり実行委員会」は全体会を4回、各班の活動を12回開催。「元気まつり2016」の企画・準備を行った。

(3) 保健推進委員協議会の取り組み

区分	年度	H27	H26
委員数		311人	311人
研修会	全体	4回	3回
	地区	6回	6回
	ブロック	79回	73回
地区活動	回数	363回	394回
	参加延べ人数 (保推を含む)	8,971人	7,734人

【活動内容】

①定期総会 ②ブロック別研修会 ③地区別研修会 ④全体研修会 ⑤役員会 ⑥地区活動

【平成27年度の活動について】

1) 健康づくり公開講座の実施

・健康づくりの啓発普及のために、全体研修会「ラクに動ける ずーっと動ける身体づくり」を健康づくり公開講座として取り組んだ。

2) 地区活動の企画実施

・地区の健康課題に基づき、運動教室や育児相談会及び食生活改善推進委員と共催で食育教室の開催等、様々なテーマで健康づくり活動を企画実施した。

・燕市の元気生活チェック調査の結果から「仲間・人間関係」が全年代において低く、全国平均と比較しても低い値になっていることから、「人とのふれあい」や「つながり」の機会となるように地区活動を企画した。

・食生活改善推進委員等他組織とともに活動することで、活動の幅が増し協働活動が広がってきている。

3) 市の事業への協力と健康づくりの推進

・乳幼児健診、幼児歯科健診、特定健康診査、各種がん検診等に協力した。

・健康フォーラムin県央や元気まつりで他組織とともにブースを担当し、健康づくりへの普及啓発や活動のPRに取り組んだ。

(4) 食生活改善推進委員協議会の取り組み

区分		年度	H27	H26
委員数			120人	120人
研修会	全体		5回	6回
	燕地区		6回	6回
	吉田地区		5回	5回
	分水地区		5回	5回
地区活動	回数		63回	61回
	参加延べ人数 (食推を含む)		16,003人	14,935人

【活動内容】

- ①協議会事業: 1) 定期総会、2) 全体研修会、3) 役員会、4) 全体活動
- ②県委託事業
- ③県・三条地域連絡会関係事業
- ④広報つばめへ健康レシピ・写真掲載(偶数月1日号)
- ⑤各地区事業: 1) 研修会、2) 班長会、3) 市の保健事業への協力、4) 地区活動

【平成27年度の活動について】

1) 減塩の普及啓発事業について

- ・各地区の研修会において減塩について学び、調理実習を行った。
研修会で学んだことを活かし、各地域で調理実習等の活動を行っている。
- ・県委託事業の対話による啓発事業で、会員が1人10件の訪問等の活動を行い、減塩の啓発を行った。
- ・スーパーマーケットや健康フォーラムin県央、元気まつり等の各種イベントで、みそ汁の塩分測定や食品に含まれている塩分相当量の展示等、減塩の啓発を行った。

2) 食生活改善及び健康増進の推進

- ・地区活動では、生活習慣病予防や郷土料理等子どもからお年寄りまで広く住民に普及伝達している。
- ・主体的に地区活動を企画・運営し、保育園や小学校、各地区において積極的に活動している。

3 各種健(検)診・健康相談・健康教育

(1) 各種健(検)診の実施状況

① 特定健診等

①-1 特定健康診査

年度	受診票発行者数(A)	受診者数(B)	受診票発行者数に対する受診者の割合(B/A)	総合判定		
				異常なし	保健指導	受診勧奨(受療中含む)
H27	13,315人	5,809人	43.6%	221人(3.8%)	1,187人(20.4%)	4,401人(75.8%)
H26	13,674人	5,812人	42.5%	219人(3.8%)	1,215人(20.9%)	4,378人(75.3%)

※「特定健康診査」は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、燕市国民健康保険に加入している人で特定健診の実施年度中に40歳～75歳となる人(ただし、人間ドックの申込者は除く)を対象に実施

①-2 後期高齢者健康診査

年度	対象者数(A)	受診票発行者数	受診者数(B)	受診率(B/A)	総合判定(()内は合計が100になるよう調整した)		
					異常なし	保健指導	受診勧奨(受療中含む)
H27	11,447人	2,905人	2,577人	22.5%	29人(1.1%)	349人(13.6%)	2,199人(85.3%)
H26	11,223人	2,984人	2,471人	22.0%	40人(1.6%)	347人(14.1%)	2,084人(84.3%)

※「後期高齢者健康診査」は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、受診日において年齢が75歳以上の人を対象に実施

①-3 健康診査

年度	受診票発行者数(A)	受診者数(B)	受診票発行者数に対する受診者の割合(B/A)	総合判定(()内は合計が100になるよう調整した)		
				異常なし	保健指導	受診勧奨(受療中含む)
H27	1,625人	906人	55.8%	287人(31.7%)	300人(33.1%)	319人(35.2%)
H26	1,857人	930人	50.1%	258人(27.8%)	335人(36.0%)	337人(36.2%)

※「健康診査」は、健康増進法に基づき、年度末年齢が19歳～39歳及び40歳以上で生活保護を受けている申込者を対象に実施

・5月～6月までの30日間、公共施設15会場で実施。うち土曜日を2日、日曜日を1日実施した。

② 胃がん検診(対象者は30歳以上)

年度	申込者数	受診者数	申込者に対する受診率	県報告受診率	要精検者数	精検受診者数	判定	
							がん	がんの疑い
H27	8,460人	4,591人	54.3%	8.7%	113人	108人	9人	0人
H26	8,355人	4,371人	52.3%	18.9%	110人	104人	12人	1人

※「県報告受診率」は40歳以上を対象に算出((受診者数)÷(対象者数)×100)

平成27年度分から対象者数の計上方法が変更された。

平成27年度対象者数:全住民

平成26年度対象者数:(平成22年度 国調人口)－(就業者)+(農林水産業者)－(要介護4・5)－調整値

【胃がん検診年齢別受診状況】

(単位:人)

年度	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
H27	188	386	501	1,446	1,622	448
H26	167	342	469	1,370	1,645	378

- ・検診を受けやすい体制づくりとして、検診時期を6月下旬～7月上旬と9月中旬～10月下旬に分け、土曜日を3日実施した。
- ・がんと判定された9人の内訳は、60歳代:3人、70歳代:3人、80歳代以上:3人。進行がん:2人(初診1人、再診1人)、早期がん:5人(初診2人、再診3人)、深達度不明がん:2人(再診2人)。
- ・精検未受診者に受診勧奨をしている。
- ・精検未受診の理由としては、「忘れていた」、「これから行く予定」が多い。

③ 大腸がん検診(対象者は30歳以上)

年度	申込者数	受診者数	申込者に対する受診率	県報告受診率	要精検者数	精検受診者数	判定	
							がん	がんの疑い
H27	10,525人	8,257人	78.5%	15.4%	499人	422人	29人	3人
H26	10,313人	7,833人	76.0%	33.7%	502人	448人	29人	3人

※「県報告受診率」は40歳以上を対象に算出((受診者数)÷(対象者数)×100)

平成27年度分から対象者数の計上方法が変更された。

平成27年度対象者数:全住民

平成26年度対象者数:(平成22年度 国調人口)－(就業者)+(農林水産業者)－(要介護4・5)－調整値

【大腸がん検診年齢別受診状況】

(単位:人)

年度	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
H27	478	799	967	2,528	2,616	869
H26	450	688	906	2,400	2,643	746

・未受診者に対し追加検診を土曜日に1日実施した。

・がんと判定された29人の内訳は、60歳代:6人、70歳代:13人、80歳代以上:10人。進行がん:10人(初診3人、再診7人)、早期がん:18人(初診2人、再診16人)、深達度不明がん:1人(再診1人)となっている。

・精検未受診者に受診勧奨している。

・精検未受診の理由としては、「体調が良い」、「以前精検で異常なしだった」、「痔・便秘のせい」、「年齢・薬等で内視鏡のリスク大」等が多い。

④肺がん検診(対象者は40歳以上)

④-1 胸部レントゲン検診(65歳以上は結核検診を含む)

年度	申込者数	受診者数	申込者に対する受診率	県報告受診率	要精検者数	精検受診者数	判定	
							がん	がんの疑い
H27	12,617人	10,126人	80.3%	20.0%	180人	170人	3人	5人
H26	12,537人	9,939人	79.3%	44.8%	137人	131人	4人	6人

※「県報告受診率」は(受診者数)÷(対象者数)×100

平成27年度分から対象者数の計上方法が変更された。

平成27年度対象者数:全住民

平成26年度対象者数:(平成22年度 国調人口)－(就業者)+(農林水産業者)－(要介護4・5)－調整値

【胸部レントゲン検診年齢別受診状況】 (単位:人)

年度	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
H27	766	1,057	3,445	3,599	1,259
H26	756	1,058	3,306	3,708	1,111

・特定健康診査と同日に実施した。

・がんと判定された3人の内訳は、60歳代:1人、70歳代:2人。初診:2人、再診:1人

・精検未受診者に受診勧奨している。

・精検未受診の理由としては、「忙しいため」、「落ち着いたら受診する」、「今度行く予定」等だった。

④-2 喀痰細胞診(対象者は40歳以上高危険群の人)

年度	対象者数(人)	喀痰容器配布者数(人)	受診者数(人)	精検者数(人)
H27	1,702	365	259	0
H26	1,659	328	239	0

※高危険群とは喫煙状況、自覚症状、職歴により喀痰細胞診の対象とされた人。

・喀痰回収日は公共施設3会場で6日間実施した。

・高危険群でも、現在は喫煙していない人は痰の採取ができないため希望しない人が多い。

⑤ 乳がん検診

⑤-1 乳がん検診—施設 視触診(対象者は30歳以上)

年度	申込者数	受診者数	申込者に対する受診率	県報告受診率	要精検者数	精検受診者数	判定	
							がん	がんの疑い
H27	3,621人	2,133人	58.9%		30人	29人	1人	0人
H26	3,758人	2,006人	53.4%		20人	19人	1人	0人

【年齢別受診状況】

(単位:人)

年度	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
H27	646	420	341	452	238	36
H26	595	424	333	418	210	26

⑤-2 乳がん検診—集団 マンモグラフィ(対象者は40歳以上)

年度	申込者数	受診者数	申込者に対する受診率	県報告受診率	要精検者数	精検受診者数	判定	
							がん	がんの疑い
H27	3,281人	2,767人	84.3%	19.3%	161人	160人	11人	3人
H26	3,629人	2,381人	65.6%	35.8%	159人	157人	9人	1人

※「県報告受診率」は(受診者数)÷(対象者数)×100

平成27年度分から対象者数の計上方法が変更された。

平成27年度対象者数:全住民

平成26年度対象者数:(平成22年度 国調人口)－(就業者)+(農林水産業者)－(要介護4・5)－調整値

【年齢別受診状況】

(単位:人)

年度	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
H27	779	622	829	459	78
H26	637	532	728	409	75

- ・施設(視触診)検診は市内の9医療機関で6月から11月まで実施した。
- ・集団(マンモグラフィ)検診は、8月～9月まで公共施設4会場で15日間実施し、そのうち土曜日を2日、日曜日を1日実施した。
- ・マンモグラフィの未受診者検診を10月の土曜日に実施し、376人が受診した。当日受診できなかった人もいたため、当初予定にはなかったが1月の土曜日に予約制にて未受診者を対象に実施し、160人が受診した。
- ・マンモグラフィ検診の問診時に、視触診モデルやパンフレットを用いて自己視触診検診の啓発を行っている。
- ・がんと判定された12人の内訳は、40歳代:5人,50歳代:3人,60歳代:2人,70歳代:2人。初診3人,再診9人となっている。
- ・精検未受診者に受診勧奨している。
- ・精検未受診の状況としては「医療機関の予約がとれない」、「どこを受診するか迷う」があった。

⑥ 子宮がん検診

年度	申込者数	受診者数			申込者に対する受診率	県報告受診率	要精検者数	精検受診者数	判定	
		施設	集団	計					がん	がんの疑い
H27	8,892人	4,701人	1,209人	5,910人	66.5%	21.0%	129人	124人	4人	0人
H26	9,099人	4,336人	1,128人	5,464人	60.1%	63.2%	117人	113人	6人	1人

※「県報告受診率」は(受診者数)÷(対象者数)×100

平成27年度分から対象者数の計上方法が変更された。

平成27年度対象者数:全住民

平成26年度対象者数:(平成22年度 国調人口)－(就業者)+(農林水産業者)－(要介護4・5)－調整値

【子宮がん検診－施設 年齢別受診状況】 (単位:人)

年度	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
H27	417	918	1,179	910	875	351	51
H26	445	879	1,053	810	778	335	36

【子宮がん検診－集団 年齢別受診状況】 (単位:人)

年度	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
H27	15	69	135	164	443	330	53
H26	20	58	101	146	426	332	45

- ・施設検診は市内の4医療機関で6月～11月まで実施した。
- ・集団検診は7、8、10月に公共施設で3会場、7日間実施した。
- ・がんと判定された4人の内訳は、30歳代:2人、40歳代:1人、50歳代:1人。初診:1人、再診:3人となっている。
- ・未受診者対策として10月1日現在の申込者で受診してなかった20～41歳の人にハガキで受診勧奨を行った。
- ・精検未受診者に受診勧奨している。
- ・受診勧奨用のチラシを作成し乳幼児健診に来る母親や骨粗しょう症検診の会場で配布し、会場で申込みを受けつけた。
- ・平成28年度も20歳～30歳代をターゲットに受診勧奨していく。

⑦ 前立腺がん検診(対象者は50歳以上)

年度	申込者数	受診者数	申込者に対する受診率	県報告受診率	要精検者数	精検受診者数	判定	
							がん	がんの疑い
H27	2,987人	1,952人	65.3%	10.8%	143人	115人	7人	14人
H26	2,849人	1,768人	62.1%	23.7%	129人	98人	6人	13人

※「県報告受診率」は(受診者数)÷(対象者数)×100

平成27年度分から対象者数の計上方法が変更された。

平成27年度対象者数:全住民

平成26年度対象者数:(平成22年度 国調人口)－(就業者)+(農林水産業者)－(要介護4・5)－調整値

【前立腺がん検診 年齢別受診状況】(単位:人)

年度	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
H27	194	709	788	261
H26	183	610	767	208

- ・受診者数は平成26年度と比較して184人増加した。
- ・人口の高齢化に伴い、受診者の増加傾向が続いている。
- ・特に吉田地区会場(吉田産業会館)では105人の増加した。
- ・待ち時間短縮のため採血スタッフを増員しスムーズに検診が流れるよう配慮した。
- ・がんと判定された7人の内訳は、60歳代:3人、70歳代:4人。初診:3人、再診:4人。
- ・精検未受診者に受診勧奨している。

(2) 健康相談・健康教育実施状況

① 健康相談

年度	総合		重点		合計	
	実施回数 (回)	相談者延べ 人数(人)	実施回数 (回)	相談者延べ 人数(人)	実施回数 (回)	相談者延べ 人数(人)
H27	186	2,789	68	1,289	254	4,078
H26	233	3,345	77	1,300	310	4,645

※重点健康相談(高血圧、脂質異常症、糖尿病、歯周疾患、骨粗しょう症、女性の健康、病態別)

- ・総合健康相談では、地区の保健推進委員や民生委員、老人会役員等と連携しながら、血圧測定や個別相談を実施し、地域の高齢者の健康管理を実施している。
- ・重点健康相談では、地域で血圧を中心とした個別相談の他、骨粗しょう症予防・転倒予防を目的にレインボー健康体操等を実施。糖尿病個別栄養相談では、医療機関と連携しながら、本人・家族への栄養指導をしている。

② 健康教育

年度	歯周疾患		ロコモティブシンドローム(運動器症候群)		慢性閉塞性肺疾患(COPD)		病態別		薬		一般		合計	
	実施回数 (回)	延べ人数 (人)	実施回数 (回)	延べ人数 (人)	実施回数 (回)	延べ人数 (人)	実施回数 (回)	延べ人数 (人)	実施回数 (回)	延べ人数 (人)	実施回数 (回)	延べ人数 (人)	実施回数 (回)	延べ人数 (人)
H27	19	551	27	455	1	31	48	997	0	0	811	20,124	906	22,158
H26	20	585	24	373	-	-	52	1027	0	0	829	17,416	925	19,401

- ・歯周疾患対策では、成人歯科健診受診者に歯科衛生士による指導を実施し、好評を得ている。
- ・骨粗しょう症検診結果説明会では、生活習慣の改善に向けた動機づけを行っている。
- ・平成27年度から慢性閉塞性肺疾患の健康教育を実施し、普及啓発している。
- ・病態別健康教育では、糖尿病予防に向けた検診・結果説明会・教室に加え、平成26年度から生活習慣病改善指導事業を実施している。
- ・一般健康教育では、いきいきライブ教室・燕けんこう大学や地区組織の地区活動及び研修会等を実施している。
- ・平成26年度から、つばめ元気ががやきポイント事業の実施に当たり、各種検診や関係機関事業等で健康づくりに関する普及啓発活動を行った。

③ 特定保健指導

年度	国保加入者数4.1現在(人)	特定健診受診者(人)	動機づけ支援			積極的支援		
			対象者(人)	利用者(人)	保健指導率(%)	対象者(人)	利用者(人)	保健指導率(%)
H27	14,841	5,960	557	248	44.5	275	62	22.5
H26	15,203	7,135	568	250	44.0	271	54	19.9

※平成27年度は集団健診のみ(人間ドック受診者含まず)。保健指導は、初回面接の人数。

※平成26年度は国報告の確定値。(人間ドック受診者含み、保健指導は終了者数で外部委託含む。)

- ・平成26年度の保健指導率は県平均より高くなった。
- ・スッキリ教室や個別相談、各種教室等で、新規利用者を増やす工夫をしていく。

④ 重症化予防の取組み[高血圧、高血糖、CKD(慢性腎臓病)]

- ・集団の特定健診、健康診査、追加の特定健診の受診者から対象者を選定(19~74歳)
- ・対象者への訪問指導や受診勧奨の実施(高血圧、糖尿病、脂質異常症での内服者除く)

項目	対象範囲	対象数	訪問指導または電話相談
高血糖	HbA1c6.5%以上	68人	67人
高血圧	血圧症度Ⅱ以上(収縮期160以上または拡張期100mmHg以上)	122人	106人
CKD	専門医受診レベル(※)	45人	39人

※eGFR50未満(70歳以上は40未満)、尿タンパク(2+)以上、尿タンパク(+)以上かつ尿潜血(+)以上のいずれか。eGFRとは、糸球体ろ過量で腎臓の働きを算出するものです。

- ・燕市医師会とCKDの取組みについて協議し、実施した。
- ・訪問期間:10月~3月まで
- ・訪問従事者:保健師、栄養士、在宅看護職

⑤ 生活習慣病改善指導事業

- ・平成26年7月より燕労災病院で委託事業として開始。平成27年度事業利用者:104人。(平成26年度75人)
- ・事業利用後は、「休肝日をつくる」、「バランスの良い食事」、「毎日、体重測定」等自分に合わせた目標を立て、生活習慣改善に取り組んでいる。

4 介護予防事業

(1)機能訓練事業の実施状況

①機能訓練事業

	回数(回)	参加延べ人数(人)
H27	58	1,486
H26	58	1,034

- ・保健事業の位置づけから、通所型介護サービスを受けていない人を対象としている。
各自の体調に合った運動の他に、参加者が役割を担う等主体性を高める内容を展開している。
平成27年度は生き生き教室終了後、自主グループが立ち上がり運動の継続につながっている。
- ・会場の拡充に伴い、参加者が増加した。
- ・身体機能が低下し始めた人の参加が多く、介護予防の健康教室の対象者にも該当する。
そのため、地域包括支援センター等と情報を共有し、身体機能の維持につながるよう、働きかけている。

②認知症予防教室

	回数(回)	参加延べ人数(人)
H27	12	181
H26	17	216

- ・保健事業の位置づけから、通所型介護サービスを受けていない人や認知症の診断を受けていない人を対象としている。
- ・平成27年度に「頭の体操教室」を1人暮らしのための「はつらつ健康教室」を統合した。
- ・実施回数は減少したが、教室1回あたりの参加者数は増加している。

5 こころの健康づくり

(1) こころの健康相談

① 健康診査時の「こころの元気アンケート」からのハイリスクアプローチ

- ・こころの元気アンケートで、「あまり元気でない」という回答者のうち個別相談希望者にその場でうつ状態スクリーニングを実施した。
- ・「うつスクリーニング」で早期対応が必要な人に対し、地区担当保健師が電話や訪問等での対応を行った。
- ・個別相談希望者には、こころの相談会や来所相談、各種教室等で相談実施した。
- ・相談希望があっても来所できなかった人や、教室に参加されなかった人に対して電話による相談を実施した。

② 県央地域こころとくらしの総合相談会

- ・9月15日(火)三条東公民館10:00～17:00 24人(うち燕市11人)
 - ・相談内容:こころ、介護、就職・失業、生活困窮等の相談、薬の相談等
 - ・専門担当者によるワンストップ相談を保健所と共催で開催した。
 - ・主催:新潟県弁護士会、三条保健所、三条市
共催:県央各市町村、薬剤師会、ハローワーク、包括支援センター、社協等
- ※平成27年度より社会保険労務士が従事

(2) 精神保健福祉講座

① こころの健康講座

年度	回数(回)	参加者延べ人数(人)
H27	4	167
H26	4	224

- ・参加していた当事者から実体験の発表がある等、講師の話がより身近に感じる事につながった。
- ・参加者の約58%が身近に心配な人がいるという状況だった。
- ・参加者の年齢層は40歳代～80歳代まで幅が広いが、60歳以上の参加者が70%以上を占める。

(3) ゲートキーパー養成講座

① ゲートキーパー養成研修会(一般向け)

年度	回数(回)	参加者数(人)
H27	2	88(実54)
H26	1	66

- ・市内ボランティア組織、支えあい活動推進委員、民生委員・児童委員等に対して参加勧奨を行った。
- ・教室を2回コースで実施し、傾聴の基本と演習を取り入れた。
- ・男性の参加が約2割あり、年代では30～50歳代が約3割占めた。

② こころのゲートキーパー養成研修会(専門職向け)

年度	回数(回)	参加者数(人)
H27	1	11
H26	1	14

- ・相談業務に携わる包括支援センター・相談支援事業所を対象に実施。
(案内配布は居宅支援事業所 20カ所、包括支援センター 4カ所、相談支援事業所 5カ所)
- ・相談業務で自殺危機にある人とかかわることがあるため、相談の対応に役立つ。

③ゲートキーパー研修会(市役所職員対象)

年度	回数(回)	参加者数(人)
H27	1	21
H26	1	32

- ・市役所職員のゲートキーパーについて理解を深め、市民への対応時に自殺予防の視点を持ってもらい市役所内での連携を図っていく。

(4) 自殺対策連絡検討会

- ・様々な分野の関係機関・団体により構成され、自殺予防対策の検討、情報交換を目的に年1回開催している。
- ・構成メンバーは、医師会、三条労働基準監督署、三条地域産業保健センター、燕商工会議所、吉田商工会、分水商工会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、警察署、三条地域振興局、介護支援専門員協議会、社会福祉協議会、消防本部、庁内関係課で構成している。

6 歯科保健の推進

(1) 幼児期のむし歯予防

① 幼児歯科健診

(再掲載)

対象児	年度	健診回数(回)	受診者数(人)	むし歯無の人数(人)	むし歯有の人数(人)	むし歯有病者率(%)	フッ化物歯面塗布数(人)	フッ化物歯面塗布率(%)
1歳	H27	12	556	556	0	0.0	546	98.2
	H26	12	536	536	0	0.0	521	97.2
1歳6か月	H27	24	574	565	9	1.6	564	98.3
	H26	36	614	607	7	1.1	603	98.2
2歳	H27	12	522	504	18	3.4	516	98.8
	H26	12	598	578	10	1.7	592	99.0
2歳6か月	H27	12	551	518	33	6.0	541	98.1
	H26	12	544	509	36	6.6	534	98.2
3歳	H27	24	632	540	92	14.6	607	96.0
	H26	36	614	531	83	13.5	594	96.7

・幼児の成長と共にむし歯有病者率が高くなる傾向がある。

・3歳児でのむし歯有病者率が県平均と比べると高くなっており、2歳児での歯磨き等に関する保健指導を強化している。

② フッ化物洗口の実施状況

		保育園・幼稚園等名	実施率
保育園	公立	燕保育園	100.0%
		藤の曲保育園	100.0%
		つぼみ保育園	100.0%
		小池保育園	95.2%
		小高保育園	100.0%
		西燕保育園	100.0%
		大曲八王寺保育園	100.0%
		水道町保育園	100.0%
		三方崎保育園	100.0%
		よしだ保育園	97.3%
		吉田日之出保育園	100.0%
		粟生津保育園	97.2%
		吉田北保育園	98.7%
		吉田西太田保育園	100.0%
		地藏堂保育園	98.5%
		島上保育園	100.0%
		あおい保育園	100.0%
		笈ヶ島保育園	100.0%
	私立	泉保育園	100.0%
		第二泉保育園	98.2%
ぎんなん保育園		100.0%	
立正保育園		100.0%	
きららおひさま保育園		98.2%	
幼稚園	公立	燕東幼稚園	94.7%
		燕西幼稚園	100.0%
		燕北幼稚園	100.0%
こども園	公立	燕南こども園	95.7%
	私立	真学園	97.7%
保育園・幼稚園・こども園計			98.7%

		校名	実施率
小学校	公立	燕東小学校	99.3%
		燕西小学校	99.0%
		燕南小学校	99.6%
		燕北小学校	98.8%
		小池小学校	99.3%
		大関小学校	95.0%
		小中川小学校	99.5%
		松長小学校	100.0%
		粟生津小学校	100.0%
		吉田小学校	98.8%
		吉田南小学校	96.0%
		吉田北小学校	98.5%
		分水北小学校	97.9%
		分水小学校	99.2%
		島上小学校	100.0%
小学校計			98.7%

		校名	実施率
中学校	公立	燕中学校	98.1%
		燕北中学校	99.1%
		小池中学校	92.3%
		吉田中学校	99.0%
		分水中学校	98.8%
中学校計			97.9%

・市内の保育園、幼稚園、小・中学校すべてで実施している。

(2) 成人の歯周病予防

① 成人歯科健診(対象者:19歳以上)

年度	健康診査受診者数 (人)	歯科健診受診者数 (人)	受診率 (%)	異常なし (人)	要指導 (人)	要精検・要医療 (人)
H27	9,292	551	5.9	106	69	376
H26	9,213	567	6.2	98	45	424

※ 健康診査受診時に希望者に実施。

追加の特定健診受診者は、健康診査受診者数に含まない。

- ・健診時の歯科問診票からハイリスク者に受診勧奨を実施した。
- ・受診者の約7割が要精検・要治療になっている。

② 唾液潜血反応検査(対象者:19歳以上)

年度	健康診査受診者数 (人)	唾液潜血反応検査 受診者数(人)	受診率 (%)	陰性(人)	陽性(人)	結果不明(人)
H27	9,292	909	9.7	399	510	0
H26	9,213	881	9.6	472	402	7

※ 健康診査受診時に希望者に実施。

追加の特定健診受診者は健康診査受診者数に含まない。

- ・健診時の歯科問診票からハイリスク者に受診勧奨を実施した。
- ・陽性反応の人には受診勧奨を行っており、受診のきっかけや歯や口の健康に対する意識づけになっている。